

要 望 書

1. 三陸沿岸道路の機能強化について
2. 国土強靱化を実現するための防災・減災対策の充実について



八戸市: 燕島



久慈市: みちのく潮風トレイル・横沼展望台



洋野町: ウニの増殖溝



階上町: 階上海岸小舟渡・階上灯台



令和7年6月20日オープン

野田村: 道の駅「のだ」



普代村: 陸中黒崎灯台

八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会

1. 三陸沿岸道路の機能強化について

八戸・久慈自動車道は、東北縦貫自動車道八戸線の八戸ジャンクションから分岐して久慈市へ至る延長約 50 km の高規格道路であり、全長 359 km に及ぶ三陸沿岸道路の一部に位置付けられております。

令和 3 年 3 月 20 日、八戸・久慈自動車道が開通し、同年 12 月 18 日には三陸沿岸道路が全線開通したことで、三陸沿岸地域は、広域高規格道路ネットワークで結ばれました。

これも、国土交通省をはじめ、青森・岩手両県、その他関係機関、関係者の皆様の、多大なる御尽力の賜物と、心から感謝申し上げます。

さて、八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会は、三陸沿岸道路の機能強化及び利活用促進に向けた、各種活動に取り組んでいるところであります。

本路線は、災害時における緊急輸送道路の機能を担うほか、平時においても、「三陸復興国立公園」への観光客の誘引による観光産業の活性化、救急患者搬送時間の短縮による救急救命率の向上、物資輸送の円滑化、三陸沿岸地域と北海道が八戸・苫小牧間のフェリー航路を経由してつながったことによる物流拡大と観光客の流入拡大等、多方面にわたる整備効果が発現しております。

三陸沿岸道路の整備効果が最大限に発揮され、三陸沿岸地域の更なる発展と活性化につなげるため、トイレや防災

拠点機能を有したサービスエリアの設置、速達性や定時性を確保するための追越車線を含む4車線化、ハーフインターチェンジのフルインターチェンジ化など、機能強化の1日も早い整備を待ち望んでおります。

つきましては、本路線の利用拡大に向け、以下の要望事項について、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

(1) 開通後の社会情勢や利用状況の変化に対応した三陸沿岸道路全体の機能強化計画を速やかに策定すること

(2) 洋野種市ハーフインターチェンジのフルインターチェンジ化事業を早期に完成させること

2. 国土強靱化を実現するための防災・減災対策の充実に ついて

近年、気象災害が激甚化・頻発化し、大規模地震の発生も切迫しており、また、高度成長期以降に集中的に整備された多くのインフラの老朽化が見込まれることから、それらの維持管理・更新を確実に実施する必要があります。

八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会といたしましても、道路施設の老朽化対策、橋梁等の流失防止対策、緊急輸送道路における無電柱化対策など、防災・減災、国土強靱化のための一層の取り組みが必要不可欠となっております。

つきましては、以下の要望事項について、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

- (1) 令和6年能登半島地震や令和6年12月及び令和7年2月における豪雪など、昨今の災害状況も踏まえ、本年6月に策定された「第1次国土強靱化実施中期計画」で示された施策を計画どおりに実施し、防災・減災、国土強靱化はもとよりインフラ老朽化対策や生産性向上等を計画的かつ強力に進めていくこと
- また、「5年間でおおむね20兆円強」をベースラインとしつつ、毎年度の予算については資材価格や人件費の高騰等の影響を含め、速やかに必要な措置を反映させることにより、実質的にもこれまで以上の予算規模を別枠で確保していくこと
- (2) 老朽化対策への技術的支援や、大規模自然災害に即応するための地方整備局等の体制強化や必要となる資機材の更なる確保に取り組むこと